

ロッド:がま磯
グレ競技SPIII
1.25-5.3m

※イナモリ瀬での仕掛け

ウキ止め
(4ヒロ)
半円シモリ

ウキ:釣研
ゼクトL 3B

Tクッション
極小サルカン
G2

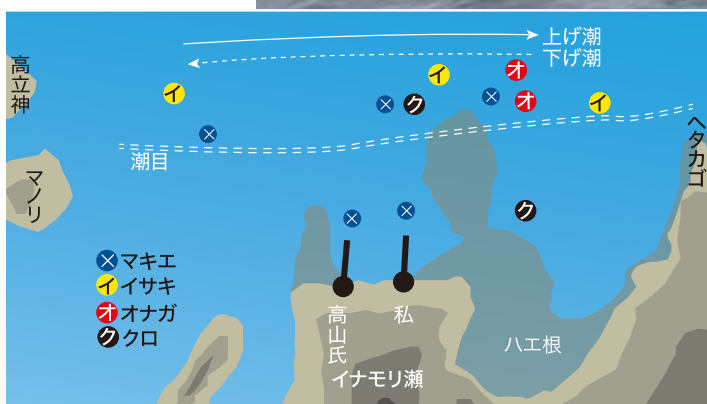
道糸:サンライン
ブラックストリーム
マークX
1.75号

リール:ダイワ
トーナメント ISO
2500-SH LBD

ハリス
サンライン
Vハード 2号
2ヒロ

ハリ:がまかつ
競技くわせ5~6号

オナガは最後の最後まで
突っ込んでやる気十分です!!
(イナモリ瀬)



今日も背中からの風で、少し左側からの強風です。方角的には、東南東の風かな? 仕掛け作りですが、今日もイサキ狙いです。嫁さんから「昨日のイサキはすごく美味しかった。」と言われましたので、またイサキをメインに考え、仕掛けを作ります。

●ウキ止めを目安に道糸操作

今は風と潮が同じ方向なので、ブレイキを掛けながらの流し込みを考えて、重ための3Bのウキで、タナは4ヒロからのスタート。後は仕掛け図を参照して下さい。

この仕掛けは、道糸を多くやると、沈むようにしてあります。なので、風が強い時は、海中でブレイキをかけ、風が弱い時はブレイキを掛けながらウキを浮かして流し

ます。私的には、オートマチックに、タナを探っていく仕掛けを作って、イメージ的には、海面(4ヒロ)から半ヒロ、1ヒロ、1ヒロ半と深く探ってイサキのタナを探す感じです。クロ狙いならオキアミの沈下速度に合わせるようにしますが、イサキ・マダイ狙いなら速く落として大丈夫です。

まず最初に竿を曲げたのは、高山氏で、私の目の前の沈みの先端部で、35cmほどのクロを釣って、ニコニコ顔です。私は、足元と沈みの先端部にマキエサを入れながら、潮に乗せて流しますが、ツケエサは付いたままで、時間だけが過ぎていきます。

「ここにイサキはおらんのか?」と考えていると、9時過ぎぐらいに、目の前、竿1本半ぐらい先に、綺麗な潮目が、ヘタカゴ瀬の方に向いてできて来ました。潮止まり前のチャンスと信じ、潮目づたいに流して行くと、ヘタカゴ瀬の手前で明確なアタリ。やっと1尾目のイ



イナモリ瀬にてオナガ!!



高山氏は文句ナシのクロ45cm。さすがです!

●二枚潮でのマキエワーク

サキで、茶色の居着きタイプです。この魚を釣って潮止まり。

しかし、上げ潮になると、完全な二枚潮で中層から下は、下げ潮の左流れ。そこで、仕掛けを高山氏の正面沖に飛ばし、右に流されながら、沈みの先端部で左に行く底潮をつかまえて、止める作戦で、2尾目のイサキ。この時のマキエは先打ちではなく、仕掛けを投入した後

最後に

5月3日、5日と釣行しました。高山氏が最後に釣ったクロは、まだ白子を出していました。ビックリです。これからさらに、梅雨に向けて良くなると思います。また、イサキも良型ばかりがそろって乗っ込み間近といった感じです。

この号が出る頃は、水温も徐々に上がり、20度台になります。乗っ込みイサキ。産卵後のクロ、マダイの荒喰い。沖の深場から磯に接確して、脂をたくわえるオナガグロ。どの魚を狙っても楽しいです。私は迷わず全魚種狙いますが、おそらく船長に「そげな所は無か」と言われると思います。